



報道関係者 各位

令和 7 年 11 月 25 日

【照会先】

和歌山労働局労働基準部監督課

監督課長 中前 英人

過重労働特別監督監理官 小林 敏行

(電 話) 073 (488) 1150

冬の官庁訪問・「過労死等防止対策推進シンポジウム」の広報活動を実施しました。

～厚生労働省労働基準局広報キャラクター たしかめたん がお手伝いしました～

和歌山労働局は、令和 7 年 11 月 17 日（月）に大学 3 年生（15 名）を対象とした冬の官庁訪問及び令和 7 年 11 月 19 日（水）に J R 和歌山駅中央改札側構外にて、令和 7 年 11 月 27 日（木）に開催される「過労死等防止対策推進シンポジウム」の広報活動（ポケットティッシュの配布）を行いました。

これらの取組には、厚生労働省労働基準局広報キャラクター「たしかめたん」がお手伝いを行いました。

※お手伝いの様子について添付のフォトレポート記事をご参照ください。

【冬の官庁訪問】

日 時：令和 7 年 11 月 17 日（月）10：00

プログラム：労働局及び労働行政について説明

労働基準監督官について説明

庁舎内見学・職員との意見交換

【シンポジウム概要】

日 時：令和 7 年 11 月 27 日（木）13：30～15：40（受付開始 13：00）

場 所：和歌山ビッグ愛 大ホール（和歌山市手平 2 丁目 1－2）

プログラム：[和歌山労働局からの報告] 和歌山労働局 労働基準部 監督課

[過労死遺族の声]

[基調講演]「パワハラを防ぐ為のコミュニケーション～自分も相手も大切に～」

稲尾 和泉 氏（株式会社クオレ・シー・キューブ 取締役）

【たしかめたん】

たしかめたんは、厚生労働省労働基準局が所掌する施策の広報を行う「かめ（亀）」のキャラクターです。



たしかめたんが和歌山労働局でお手伝いを行いました① ～ 冬の官庁訪問編 ～

2025年11月17日、和歌山労働局で大学3年生15名を対象とした、冬の官庁訪問を実施しました。

冬の官庁訪問では、参加された大学生に和歌山労働局の業務内容や労働基準監督官の仕事などの説明を行いました。

また、参加された大学生は労働局内のフロアを巡回し、実際に職員が働いている様子の見学や、職員との座談会で疑問に思っていることなどを質問する意見交換を行いました。

たしかめたんは緊張した空気を和らげ、一緒に説明を受けていました。

たしかめたんのことを知っている人がいなかったのも、もっと知ってもらえるように頑張ろうと意気込んでいました。

～ ティッシュ配り編 ～に続く

みんな一生懸命説明を聞いてくれたよ。意見交換ではたくさん質問してくれてありがとう！一緒に働けることを楽しみにしているよ！



たしかめたんが和歌山労働局でお手伝いを行いました② ～ ポケットティッシュ配り編 ～

2025年11月19日、ＪＲ和歌山駅中央改札側構外で、「過労死等防止対策推進シンポジウム」の広報（ポケットティッシュ配り）を実施しました。

厚生労働省労働基準局の広報キャラクター「たしかめたん」が応援に駆け付け、周囲の視線を集めていました。



たしかめたんの周りに、高校生や社会人がたくさん集まり、一緒に写真を撮ったり、握手をしたり、たしかめたんは人気者でした。

たしかめたんのおかげでポケットティッシュはあっという間になくなりました。

たしかめたんは和歌山の2日間で和歌山の人とたくさん触れ合うことができました。

たしかめたんはお家のある東京に帰りましたが、「また、和歌山に来たいな🐸」と言っていました。



11/27の過労死等防止
対策推進シンポジウムに
きてね！
また和歌山に行くよ！



和歌山
会場

過労死等 防止対策推進 シンポジウム

過労死をゼロにし、健康で充実して
働き続けることのできる社会へ

近年、働き過ぎやパワーハラスメント等の労働問題によって多くのの方の
尊い命が失われ、また心身の健康が損なわれ深刻な社会問題となっています。
本シンポジウムでは有識者や過労死で亡くなられた方のご遺族等にも
ご登壇をいただき、過労死等の現状や課題、防止対策について考えます。

参加
無料
事前申込

基調講演

パワハラを防ぐ為の
コミュニケーション
～自分も相手も大切に～

株式会社クオレ・シー・キューブ
取締役

稲尾 和泉 氏



日時

2025年11月27日(木)
13:30～15:40 (受付13:00～)

会場

和歌山ビッグ愛 大ホール
(和歌山市手平2丁目1-2)

◎お申込み・特設ホームページはこちら

過労死等防止対策推進シンポジウム



主催：厚生労働省

後援：和歌山県、和歌山市、海南市、岩出市、紀の川市、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市

協力：過労死等防止対策推進全国センター、全国過労死を考える家族の会、過労死弁護団全国連絡会議

二次元バーコードを
読み込んで下さい。

和歌山会場

プログラム

[和歌山労働局からの報告]
和歌山労働局 労働基準部 監督課

[過労死遺族の声]

[基調講演]

「パワハラを防ぐ為のコミュニケーション ～自分も相手も大切に～」

稲尾 和泉 氏

(株式会社クオレ・シー・キューブ 取締役)

稲尾 和泉 氏

株式会社クオレ・シー・キューブ 取締役

市職員、ソニー(株)、中学校カウンセラーを経て、
2003年(株)クオレ・シー・キューブカウンセラーおよび研修講師
現在 取締役、シニアコンサルタント

[厚労省]

平成27年度 サポートガイド改訂に向けた調査研究委員会 委員
平成28年度～31年度 パワーハラスメント対策企画委員会 委員

[人事院]

平成31年度 公務職場におけるパワーハラスメント防止対策検討会 委員

[著書]

『上司と部下の深いみぞ ～パワー・ハラスメント完全理解』

(紀伊国屋書店) 共著

『あんなパワハラこんなパワハラ』(全国労働基準関係団体連合会) 著

『パワーハラスメント』(日本経済新聞出版社) 共著

会場のご案内

和歌山ビッグ愛 大ホール

(和歌山市手平2丁目1-2)

・JR和歌山駅から徒歩 約15分

・JR宮前駅から徒歩 約8分

参加申し込みについて

- ▶会場の都合上、事前申し込みをお願いします。
- ▶申し込みはWebまたはFAXをお願いします。
- ▶受付番号を発行いたします。当日会場受付にて受付番号をお知らせください。
- ▶定員になり次第締め切りとさせていただきますのでご了承ください。
- ▶定員超過の場合は、電話またはメールでご連絡いたします。
- ▶連絡先のTELかE-mailのどちらかは必ずご記入ください。
- ▶参加(証明)書の発行はいたしておりません。予めご了承ください。



◎Webからのお申し込みはこちら

過労死等防止対策推進シンポジウム 検索

<https://www.mhlw.go.jp/karoshi-symposium/>



●以下の参加申込書に必要事項を記載の上、FAXをお願いします。FAX番号 052-915-1523

●下記の「個人情報の取扱いについて」に同意の上、ご記入ください。→ ☐ 同意しました。

過労死等防止対策推進シンポジウム [参加申込書]

●次の該当する□に✓をお願いいたします。

- | | | | | | | |
|----------------------------------|------------------------------------|------------------------------|--------------------------------------|------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
| ☐ 経営者 | ☐ 会社員 | ☐ 公務員 | ☐ 団体職員 | ☐ 教職員 | ☐ 医療関係者 | ☐ 弁護士 |
| ☐ 社会保険労務士 | ☐ パート・アルバイト | ☐ 学生 | ☐ 過労死等の当事者・家族 | | | |
| ☐ その他 [] | | | | | | |

お名前	ふりがな	ふりがな
	ふりがな	ふりがな
連絡先	●TEL:	●FAX:
	●E-mail:	
企業・団体名		

「個人情報の取扱いについて」 ・ご記入いただいた事項は、過労死等防止対策推進シンポジウムの申込受付業務を目的として使用します。 ・他の目的ではご本人の同意なく第三者に提供をいたしません。 ・委託運営株式会社プロセスユニークの「個人情報保護方針 (<https://www.p-unique.co.jp/hp/privacy.html>)」に従い適切な保護措置を講じ、厳重に管理いたします。

(お問い合わせ先) 厚生労働省シンポジウム事業受託事業者 株式会社プロセスユニーク

電話: ☎ 0570-026-027 (ナビダイヤル)
E-mail: karoushiboushisympo@p-unique.co.jp